

○三陸中部森林管理署の「採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年9月25日（月）に岩手県釜石市橋野町の橋野第一国有林で開催された「令和5年度 採材検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇空のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など60名を超える参加を得て開催されました。三陸中部森林管理署長の挨拶、署担当者から現地概要、直近の販売結果、採材方法についての説明があり、採材の検討に移りました。

事前に試供木として準備した広葉樹3本を対象に3班に分かれ、それぞれの試供木について採材検討を行いました。検討後、それぞれの班から採材案の説明があり、広葉樹について岩手県森林組合連合会の担当者からの採材の解説と木材市況等の情報提供がありました。実物の節、曲がり等を見ながらの解説を受けることで、広葉樹材の欠点について認識を共有することができました。青森事務所からは需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹の定尺にこだわらない一般材の採材や作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」、労働安全等に関して協力をお願いしたところです。

検討会では引続き、署の担当者から、森林作業道の盛土の締固めについてや森林作業道の路盤下に透水性シートを敷設して浸食や轍の発生等を抑える東北式シート工法について説明があり、森林作業道作設の基本と新しい技術について理解を深めることができました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(広葉樹採材の検討)



(採材案の説明)